

クローバー

コロナと闘う

幼い孫が「コロナちゃん、コロナちゃん」と意味も解らず無邪気に、はしゃいでいる。

テレビが伝える石川県の日々の感染者数に不安と安堵を繰り返し、コロナ報道ばかりに、うんざり。ロックダウンやリモートワーク、ワーケーションなどと横文字をメディアが報道している。楽しみにしていた大河ドラマも朝のドラマも中断のまま、多くのテレビ番組も再放送を繰り返し、再放送とわかっていても旅行番組やグルメ番組を見ることで楽しい旅や食事に行けないもどかしさを昇華しようとしている私たち。感染症対策と経済活動とがお互い拮抗しあう先の見えないコロナ嵐の中、結局は3密を避ける自己判断と手洗い・マスク着用の自己防衛しかない現状が続いている。

当院でも患者さん対応、特に発熱のある方の受け入れに苦慮しています。病院入り口に設置した検温モニター装置、胸部CT撮影での肺炎のチェックなどの間接的判断でしか対応できないもどかしさの中、直接的判断であるPCR検査も保健所への届け出と許可をもらっての施行、結果もすぐには出ず、翌日の午後となり、患者さんには感染症対策病室で不安な入院生活をしていただいています。少しずつ改善されつつありますが、医師の判断でもう少し自主的にPCR検査ができないのだろうかと思います。大学病院などでは手術患者などは術前に、疑わしい入院患者には自主的にPCR検査をしていると聞きます。幸いにしてこれまで当院ではすべて陰性の結果ですが、感染症対策の手は今後も決して緩めることはできません。

単科病院である当院のコロナ対策としてできることは何か？最も注意すべきは病院内クラスターの発生です。今年2月以来10数回以上行われてきている院内感染対策委員会では、1)患者さんに対しては、病院入り口での来院患者さんおよび家族の体温測定(サーモグラフィ設置)と一般外来および救急部での有熱者対応、スタッフと患者さん間にシールド設置しての間診や診察、必要時の患者面会制限と限定区域でのご家族への病状説明、発熱入院患者さんに対して必要時に感染症対策病室での管理とPCR検査の施行など、2)病院職員に対しては、職員自身の体温チェックや感染防御策の徹底によりスタッフが感染媒介者とならないように努めてきています。患者さんとそのご家族には面会制限などで大変ご迷惑をおかけしていますが、「持ち込まない、持ち込ませない」の感染症対策の水際作戦に、この場をお借りしてご協力をお願いいたします。

一刻も早く、コロナウイルスに有効なワクチンができ、何もない穏やかな日々の到来を待ちたいと思います。新たなアフターコロナの日常生活の中、これまでの人付き合いや働き方も変わってゆくことでしょう。しかし、私たちはこれまでと変わらず、患者さんに安心して満足していただける医療を提供できる体制づくりに邁進してゆきたい。そう思いながら、「今日も暑くなるだろうな」と眩き、照りつける太陽を一瞥して病室に向かう。



副院長
池田 清延

入退院支援センターの設置

9月1日より「入退院支援センター」を開設しました。

当院は、脳卒中など緊急入院になる患者さんの他に、予約入院になる患者さんも多くいらっしゃいます。

この度、予約入院の患者さんに入院前から入退院支援看護師をはじめ、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多分野の専門職が関わり、退院を見据えた入院を支援することを目的に、「入退院支援センター」を開設しました。



入退院支援とは？

入退院支援とは、入院前から退院に向けて、患者さんやご家族が安心して過ごせるように、また、身体的・社会的・精神的・経済的にも安心して治療に専念できるように、多分野の専門職が協力して支援することです。患者さん、ご家族にとって入院治療を行うことは、治療への不安や緊張、生活や経済的にも不安な要因は多くあります。そのような状況だからこそ、専門職として患者さんやご家族を支えたいと考えています。

外来で予約入院が決まりましたら、入退院支援看護師や各専門職が患者さん、ご家族と面談をさせていただきます。面談時にお伺いすることや説明させて頂くことは、主に以下の内容になります。個人情報に関わる内容もありますので、専用の面談室にて行います。

◆身体的・社会的・精神的背景を含めた情報について

◆入院前に利用していた介護サービスまたは福祉サービスについて

◆褥瘡(床ずれ)に関する危険因子の確認

◆栄養状態の確認

◆服薬中の薬剤の確認

◆退院困難な要件の有無の確認

◆入院中に行われる治療・検査の説明

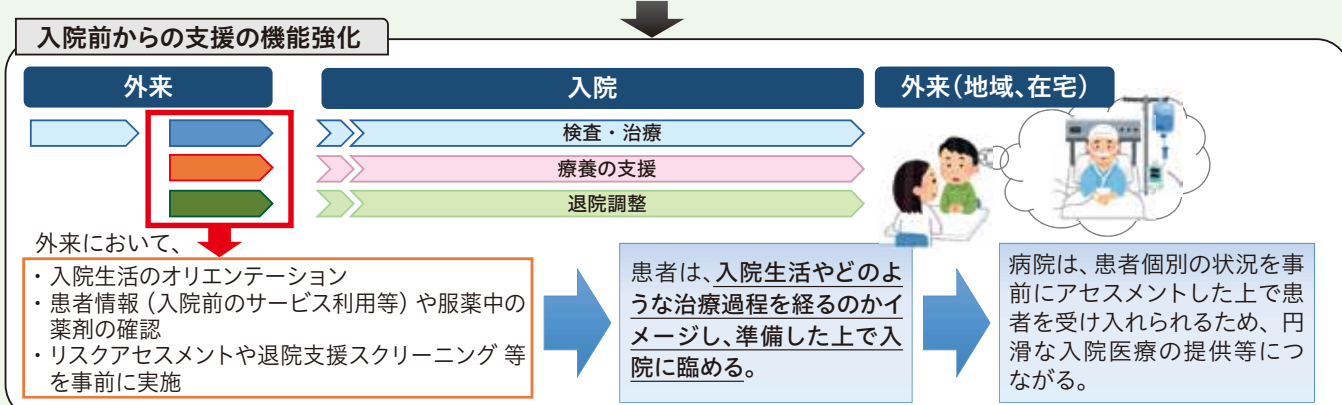
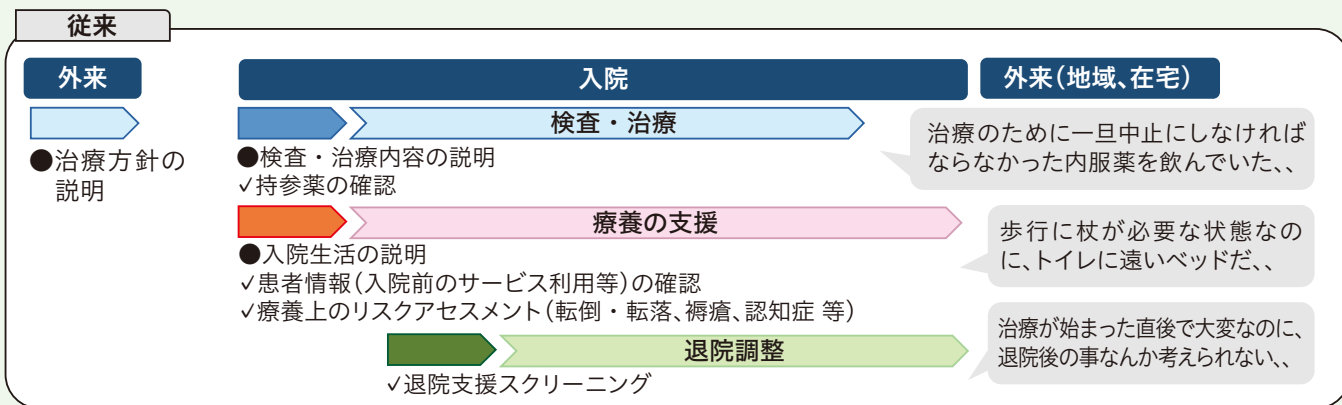
◆入院生活の説明

これらの内容をもとに患者さんの個別状況を入院前に評価を行って、入院を受入れる病棟の専門職と事前に情報共有を行い、円滑な入院医療の提供につなげます。また、患者さんの身体的・社会的・精神的・経済的な問題について、患者さん、ご家族と共に解決出来るように支援いたします。なによりも患者さんが入院中にどのような治療過程をたどるのかを事前にイメージして、準備した上で入院に臨めるように努めていきたいと思っております。





入院前からの支援の機能強化(イメージ)



出典:「平成30年度診療報酬改定の概要 医科I」I-3. 入退院支援の推進②(厚生労働省保険局医療課)



新型コロナウイルス感染症に関する対応について

(令和2年9月1日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行が再来し、拡大しています。当院では入院中の患者さん・医療従事者等を感染から守るために、院内の感染対策を再度強化します。ご不便をおかけしますがご了承願います。(病院長)

診療について

- ①咳や発熱等の症状がある場合や、咳止め薬や解熱剤を服用している場合は、当院へは来院せず、帰国者・接触者相談センターへご相談ください。

石川中央保健福祉センター 所在地 白山市馬場2丁目7番地 電話 076(275)2253

- ②従来どおり予約・紹介状のある患者さんは受付します。
- ③同伴者については極力少なく、特にお子様は可能な限りご遠慮ください。

面会禁止についてのお願い

新型コロナウイルス感染症の流行に対して、以下の点にご留意ください。

- ①面会は**全病棟で原則禁止**しています。(期間未定)
- ②入院中の患者さんの外泊・外出は原則禁止しています。
- ③洗濯物等の受け渡しは、家族面会証をお持ちの方だけのみとします。受け渡しは、スタッフステーションで行います。**平日の14:00~17:00にお越しください。**
- ④リハビリ等に患者さんが出療する場合も、面会は出来ません。ただし介護調査や退院に向けた介護指導等、治療と見なされる場合は考慮いたします。
- ⑤緊急時や手術前後など医師から説明を受ける場合は2名以内で短時間で面会して頂きます。

※いずれも発熱、感冒症状等がないことを確認しマスクの着用、手指消毒をお願いします。

来院時の検温にご協力ください

来院される方すべてにサーモグラフィによる検温を行っています。(発熱37.5度以上が確認されましたら当院での受診はご遠慮頂きます。)担当の職員が常駐してご案内します。



上記の内容は9月1日現在の対応であり、対応の内容は常時変更となる可能性があります。最新情報は当院のホームページに掲載しています。



病院
理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様へ、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。



日本医療機能評価機構 認定病院

医療法人社団 浅ノ川

金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2

TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914

http://www.nouge.net

金沢脳神経外科病院 広報誌 第76号 発行:広報委員会
2020年9月15日発行